

第四十二回

辻ヶ花小倉淳史展

※十一月四日(火)来場

おかげさまで今年も個展開催を迎えました。

作品制作にあたり私はいつも日本料理との相似を感じております。

一皿毎に彩りと季節を考えながら全体の献立をまとめあげること

一作品毎に構図と配色、季節を考えながら

個展全体をまとめる事が同じように思います。

夢幻染、染帯、着尺、つけさげ、コート、訪問着を染め上げました。

何卒、ご来場賜りまして作品を料理のように

ご賞味頂きたいと存じます。

令和七年初秋

小倉 淳史

是非のご来社を

お待ちしております

令和七年十月吉日

千切屋株式会社

京都・高倉・三条